

弘前大学理工学部後援会報

第20号

発行日 令和6年2月22日
 発行者 〒036-8561 弘前市文京町3
 弘前大学理工学部後援会(理工学部内)
 印刷所 (株) 笹 軽印刷
 連絡先 御領 潤 (理事・教員)
 TEL : 0172-39-3555

会長ご挨拶

理工学部後援会会長 糠 塚 いそし



このたび、高木前会長の後任として会長職を仰せつかりました。よろしく申し上げます。私は北海道生まれで、昭和52年3月に弘前大学理学部化学科を卒業しました。卒業後他大学の大学院に進学しましたが、縁あって弘前大学に採用され、2020年に定年退職するまでの37年間をこの地で教育・研究に携わらせていただきました。

この間大学における勉学環境の変化には目を瞠るものがあると感じています。例えば、現在では板書を行わずにプロジェクタからの投影による講義も行われています。また、紙の辞書・辞典はパソコンやスマホ・タブレットに変わり、自学自習やレポート作成に欠かせないものとなっています。学外における活動も活発となり、国内外の学会やセミナーなどへの参加が行われていま

す。就活にはキャリアセンターがあります。このような勉学環境の充実が学生・院生に貴重な経験をもたらし、学習の質の改善につながり、新たな飛躍への一歩となっていると言えるでしょう。

この会報では本会の支援事業として「企業人講演会」「OB・OG講演会」の報告が1件、学外実習の報告が2件、国際学会への参加報告が1件掲載されており、後援会が上で述べたような貴重な経験、新たな飛躍への一助となっていると感じます。また、保護者懇談会(札幌会場)の報告もごぞいます。元教員としての立場から申しますと、保護者の皆さんとの交流は後援会からの支援があってこそ長く続いていると考えています。

大学を取り巻く環境がバラ色とは言えない中、勉学環境の更なる充実には後援会からの支援が欠かせません。会員の皆様には、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

理工学部保護者懇談会(札幌会場)のご報告

理工学部学務主任 黒 川 敦

北海道出身学生の保護者を対象とした札幌地区の保護者懇談会が、令和5年9月23日(土)に札幌駅前のアスティ45で開催されました。本懇談会は、初めに全体懇談会として大学からの説明を約50分行い、その後個別相談として学科ごとのブースに分かれて個々の保護者からのご質問に答える二部構成で実施されました。70名の保護者にご参加いただきました。本学部からは岡崎学部長、副学部長、就職対策委員長、各学科長および教員、各事務職員が参加いたしました。

全体懇談会では、出席教員の紹介後、学部長が挨拶され、それから就職・進路、成績、後援会についての説明がされ、最後に質疑応答がされました。全体懇談会は新型コロナウイルス感染症対策の関係でここ数年対面での実施を控えており、対面で行うのは今回が4年ぶりのことです。

個別相談会は一組当たり30分で実施されました。大学での状況、成績、大学院への進学、就職についての熱心な質問が多数ありました。保護者懇談会開催後のアンケートでは

保護者の皆様から「大学生活は充実しているようなので安心した」「現在の就職状況や成績評価について大変わかりやすく説明していただいた」「大学院への進学の状況や就職の状況について知ることができよかった」等のご感想をいただきました。

理工学部では北海道出身の学生が占める割合が約4割と非常に多く、北海道における保護者懇談会は非常に重要となっております。理工学部後援会の皆様には、引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



全体説明会会場



個別相談会会場

「企業人による講演会」「OB・OG講演会」報告

理工学部就職対策委員長 佐川 貢 一

理工学部後援会から、就職ガイダンス経費として「企業人による講演会」と「OB・OG講演会」の開催にご援助を頂きました。理工学部後援会の皆様に深く感謝申し上げます。

「企業人による講演会」は、日販テグシード株式会社代表取締役社長の藤澤徹氏を講師としてお招きし、令和5年12月6日(水)に開催しました。経営者の視点からご講演を頂き、1つの分野で一流となるためには10,000時間、通常業務で5年を要することなどが紹介されました。

「OB・OG講演会」は、ミネベアミツミ株式会社の井畑裕貴氏と、横河ソリューションサービス株式会社の表皓介氏をお招きし、令和6年1月17日(水)に開催しました。井畑氏の講演では、大学生時代からものづくりに興味があり、就職した後も好きなものづくりに関する業務に携わることができて、やりがいのある充実した生活を送っているというお話がありました。表氏の講演では、責任のある仕事を任されることの重要性などについてのお話がありました。本講演会は、対面形式で行われ、約50名の方々にご参加頂きました。また、質疑討論も活発

に行われ、就職活動を控えた学生の就職に対する高い注目度がうかがえました。

講演会に参加した学生にとっては、就職してから仕事に対してどのように対応すべきかを考える非常にいい機会になったと考えております。今後ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



企業人講演会 藤澤氏



OB講演会 井畑氏



OB講演会 表氏

外部研究施設での実験実習事業（大型放射光施設 SPring-8）報告

理工学研究科 数物科学コース 増田 亮

世界遺産の姫路城から西北西に約30km、兵庫県佐用郡佐用町にある大型放射光施設 SPring-8にて、実習実験を実施しました。SPring-8は世界の3大放射光施設の中でも最高のエネルギーで運用されている全世界に開かれた共同利用施設であり、人文科学から自然科学の様々な

領域で、X線を利用した研究法による多様な研究が行われています。我々が行った放射光メスbauer分光法もその一つです。

今回、私たちの研究グループでは後援会のご支援を頂いて、希土類元素のひとつであるユウロピウムが超高压の水素雰囲気下でどのような性質を示すかを調べる実習を行いました。SPring-8の大規模かつ最先端な測定装置群が、どのように動作することで先端測定が実現されているのかを理解することは大変ですが、図1の写真のように臆することなく立ち向かい、最先端の実験手法に触れる極めて貴重な経験ができました。

図2の写真は、研究グループで撮影した記念写真です。われわれ弘前大学のほか、量子科学技術研究開発機構、フィリピン大学ディリマン校の研究者の方々と共同で実験を行いました。国内外の研究者との交流は、研究のみならず今後の進路を考えるうえでも価値ある実習であったことでしょう。

改めまして、当研究室の学生に学外にて先進的計測手法に関わる稀有な機会をいただいたことにお礼を申し上げます。今後とも変わらぬご支援をいただけますと幸いです。

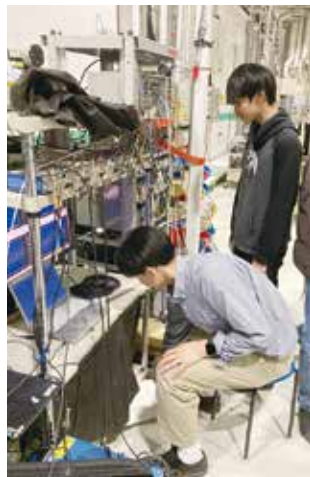


図1 マルチチャネルの計測系で、手引きを見ながらデータ処理に取り組む学生

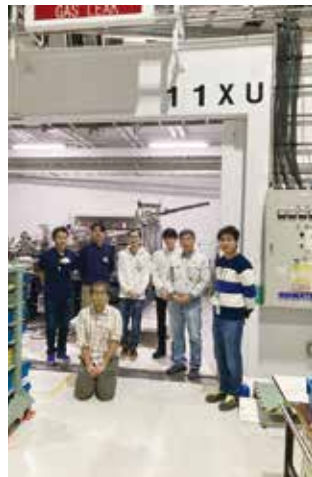


図2 実験グループの集合写真 SPring-8 BL11XUにて撮影 立っている人の左から2-4番目が当研究の学生

地球環境防災学科の学生野外研修事業報告 「地質調査法実習」の報告

地球環境防災学科 根本直樹

地球環境防災学科では地質調査法実習という授業を、3年生を対象に開講しています。この実習は実際に野外に出て地層を観察して記載するという特徴がありますが、大学の近郊では地層を観察できないため、平川市の白岩森林公園に行っています。履修学生やスタッフを実習地まで移動させるためには借上バスが効率的なので、バス借上代の一部を理工学部後援会に援助して頂きました。

本年度の野外実習は5月14日、6月18日、7月2日に行いました。写真は5月14日に撮影したものです。白岩の名前の由来にもなっている白色の岩石は、約四百万年前に現在の大鰐町から平川市碓ヶ関にあたる地域にカルデラを形成した火山噴火に伴う軽石凝灰岩（軽石と火山灰が混合した岩石）です。白岩にあたる地域は当時は海の中で、軽石凝灰岩には層理（縞模様）が見られます。履修者はここで地層の走向・傾斜（地層の傾いている方向と角度）を測定する訓練をしました。機器の扱いは室内で習っているものの、実際の地層を相手に野外で測定するのは履修者にとっては初めてです。また、この軽石に含まれる鉱物は比較的大きいため、初習者が鉱物の同定を行うのに適しています。履修者はルーペを使いながら鉱物の同定に真剣に取り組んでいました。

この地点の観察を終えると、徐々に西へ移動して他の崖も丹念に調査します。巣穴の化石を含む砂岩なども見られます。3回の野外実習で得たデータは屋内に持ち帰り、屋内の実習ではそれを使ってこの地域では地層がどのように重なっているかを考察しました。

理工学部後援会からの御援助で今年度も大過なく実習を終えられたことに感謝申し上げますとともに、次年度以降のご支援もよろしくお願い致します。



白岩で地質の観察に取り組む参加学生

第12回アジア太平洋バイオメカニクス学会に参加して

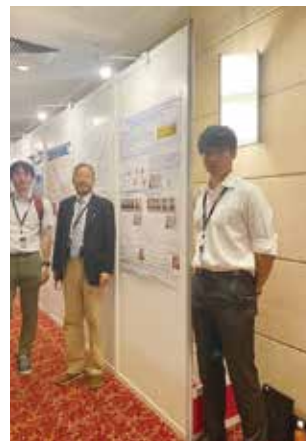
理工学研究科機械科学コース 笹川・三浦研究室 清水大輔

私は2023年11月15日から18日にかけてマレーシア・クアラ Lumpur 市のコーラスホテルで行われた第12回アジア太平洋バイオメカニクス学会 (AP-BIOMECH2023) に参加し、「Visualization of contact stress acting on palm during bat swing」というタイトルでポスター発表を行いました。野球のバットスイングなどの熟練動作は個人の経験や感覚に依存するため、その手技を具体的に伝えるのは難しく、指導する際は感覚的にならざるを得ないという問題があります。私の発表内容は研究室で開発された三軸フレキシブルセンサを手掌部に接着し、バットスイング時に作用する接触応力の計測を行い、手の力覚の可視化を行ったものです。

初めての国際学会への参加ということで不安や緊張がありましたが、様々な国の研究者から意見やアドバイスをいただくことができ、積極的にディスカッションを行うことができました。質疑応答では英語を聞き取れなかったことや、自分の考えをうまく表現できなかったことがあり、自分の未熟さを痛感するとともに英語力・プレゼンテーション能力の重要性を再認識しました。この

経験を今後の研究や学会発表に活かしていきたいと思えます

最後になりますが、今回の第12回アジア太平洋バイオメカニクス学会に参加するにあたり、弘前大学理工学部後援会より旅費の一部を援助いただきました。心より感謝申し上げます。



発表会会場

令和4(2022)年度 弘前大学理工学部後援会決算書

Table with 4 columns: 収入, 支出, 繰越, 繰入. Includes sub-tables for 一般会計 and 特別会計 with detailed item breakdowns.

Table with 4 columns: 収入, 支出, 繰越, 繰入. Includes sub-tables for 一般会計 and 特別会計 with detailed item breakdowns.

Table with 4 columns: 収入, 支出, 繰越, 繰入. Includes sub-tables for 一般会計 and 特別会計 with detailed item breakdowns.

Table with 4 columns: 収入, 支出, 繰越, 繰入. Includes sub-tables for 一般会計 and 特別会計 with detailed item breakdowns.

Table with 4 columns: 収入, 支出, 繰越, 繰入. Includes sub-tables for 一般会計 and 特別会計 with detailed item breakdowns.

Table with 4 columns: 収入, 支出, 繰越, 繰入. Includes sub-tables for 一般会計 and 特別会計 with detailed item breakdowns.

編集後記 昨年に引き続き今年の弘前も雪が少なく、気候に関して「例年並み」という言葉がだんだんと意味をなさなくなってきているように感じます。しかし後援会活動に関しては、皆様から「例年通り」の温かいご支持を賜ることが出来、本号にも報告されておりますように多岐にわたる活動を円滑に継続することができました。ここに深く御礼申し上げます。世の中ますます多様化し先行きを見通すことが困難な状況ではありますが、ご子息ご令嬢の一人お一人が実りある将来を開拓し歩んでいく力を身につけられるように、教育や研究の質を高める努力を永続して参る所存です。今後ともどうぞ変わらぬご支援をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。(特別会員理事(教員) 御領 潤)

令和5年度 弘前大学理工学部後援会 役員等一覧

- 会長 糠塚 いそし
○ 副会長 長尾 清志 (機械科学コース)
○ 理事
・ 通常会員
工藤 佐知子 (数物科学科)
奈良 肇 (物質創成化学科)
村上 純一 (物質創成化学科)
棟方 秀和 (物質創成化学コース)
今 昭博 (地球環境防災学科)
中西 英樹 (電子情報工学コース)
長尾 清志 (機械科学コース)
菊池 諭 (自然エネルギー学コース)
・ 特別会員
森脇 健司 (理工学研究科准教授・機械科学科)
御領 潤 (理工学研究科教授・数物科学科)
川上 淳 (理工学研究科教授・物質創成化学科)
・ 賛助会員
糠塚 いそし (弘前大学理学部昭和52年3月卒業、令和2年3月理工学研究科教授定年退職、弘前大学名誉教授)
○ 監査
前田 清幸 (電子情報工学科)
藤野 祐子 (機械科学科)
○ 顧問
岡崎 雅明 (理工学研究科長・理工学部長)

会務報告 (第20回理事会・総会)

定例の理事会・総会がそれぞれ6月7日(水)と10月21日(土)に開催されました。理事会では、新理事等の就任について諮られ承認されました。監査結果報告の後、令和4年度決算案及び令和5年度事業計画と予算案について審議が行われ、原案どおり承認されました。総会は保護者懇談会当日に併行して行われ、長尾副会長が議長を務め、6月の理事会で承認された令和4年度決算案及び令和5年度事業計画と予算案について追認されました。引き続き会則の一部改正及び個人情報保護規程の制定等について審議が行われ、原案どおり承認されました。高木会長の辞任に伴い、後任の会長の選出について2月5日付けで紙上臨時理事会が開催され、糠塚いそし氏が選出されました。来年度の定時総会は保護者懇談会開催(総合文化祭期間中)に併せ、10月下旬頃に開催予定としました。また、理事会については、今年度は案件があれば開催することとし、来年度の開催は本年度と同様6月上旬頃に開催予定としました。

弘前大学理工学部後援会ホームページアドレス: http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/koenkai/ 弘前大学ホームページの理工学部ホームページはこちらを開いてください。